

これまでのビジョン推進会議の 振り返りについて

これまでのビジョン推進会議の振り返りについて

上野地区まちづくりビジョン推進会議 (プロジェクトマネジメント)

多様な主体の協働によるまちづくりの推進

上野地区にかかわる様々な人々や組織が、それぞれの役割を認識し、協働によるまちづくりに取り組む

【会議の役割と目的】

- 上野地区まちづくりビジョンに基づくまちづくりの進捗管理
- 上野地区全体のまちづくり推進のための協議・調整
- 状況の変化に応じた柔軟かつ機動的なビジョンの検証・更新



まちづくりの多様な主体(プレイヤー)のイメージ

専門部会の設置

まちづくり推進部会 (使い方検討)

【部会の役割と目的】

- 杜・まち連携の取組み推進
- エリアマネジメントの推進

検討テーマや具体的なアイデアなどの提案や共有、活動の支援

ワーキンググループ

アイデア抽出と人材発掘のためのワークショップ等を開催する体制

相互連携

- 上野地区まちづくりビジョン推進会議で、両部会の検討状況を共有・意見交換
- 基盤整備推進部会では、まちづくり推進部会での議論を踏まえながら基盤整備の検討を実施
- 検討内容に応じて、適宜まちづくり推進部会の部会員を加えた基盤整備個別検討PTを設置

基盤整備推進部会 (作り方検討)

【部会の役割と目的】

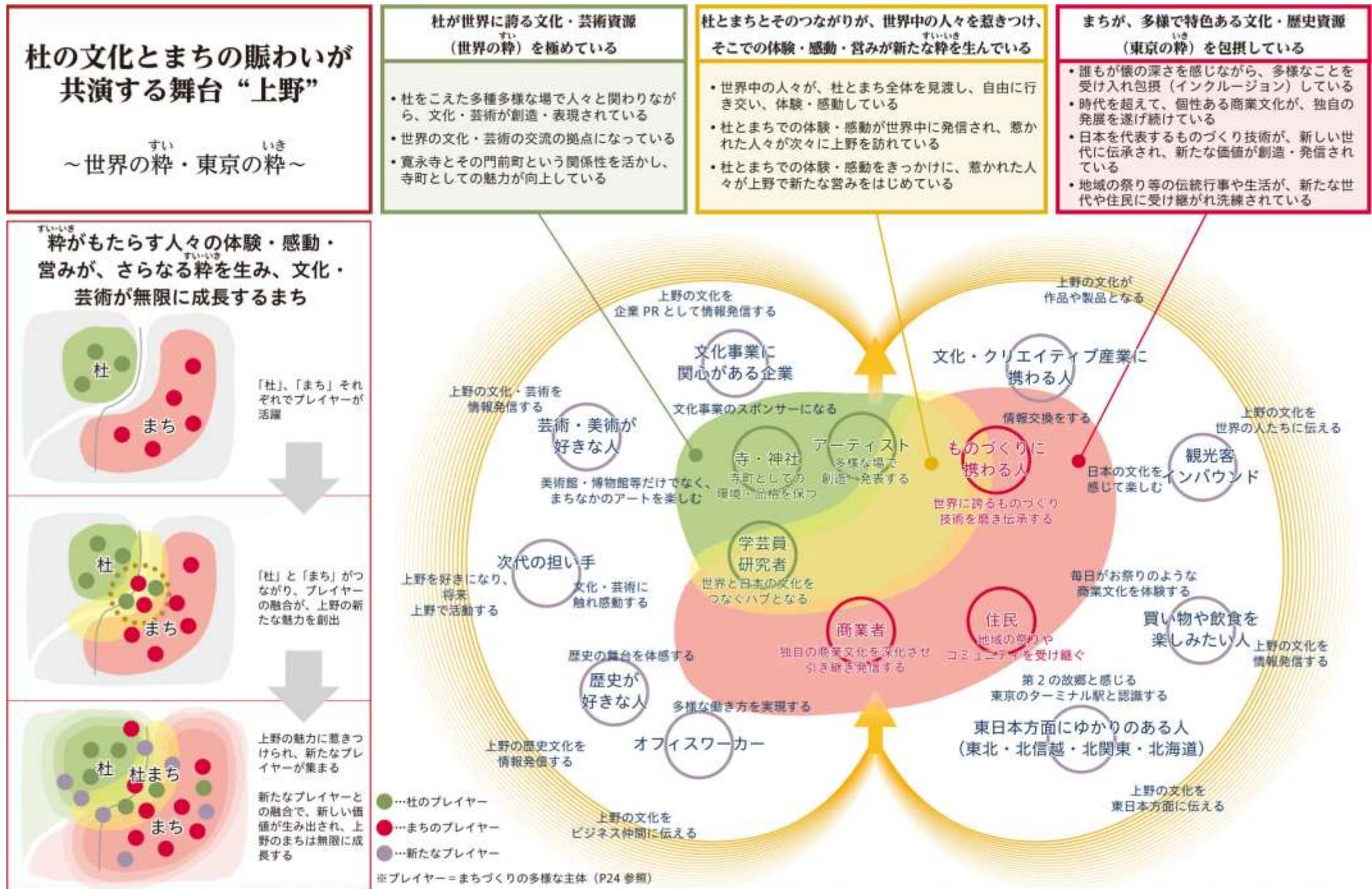
- 駅周辺基盤整備方針の整理
- 基盤整備事業の深度化検討

情報共有

個別検討PT

各事業の具体化に向けた検討を実施する体制 ※当面は短期的なウォークブルまちづくり推進の実現に向けた検討を実施

■ 上野の将来像 (上野地区まちづくりビジョンより抜粋)



■ 上野地区全体の取り組み (上野地区まちづくりビジョンより抜粋)

杜・まち・杜まちエリアでの取組を集約した地区全体の取組とまちづくりの方向性

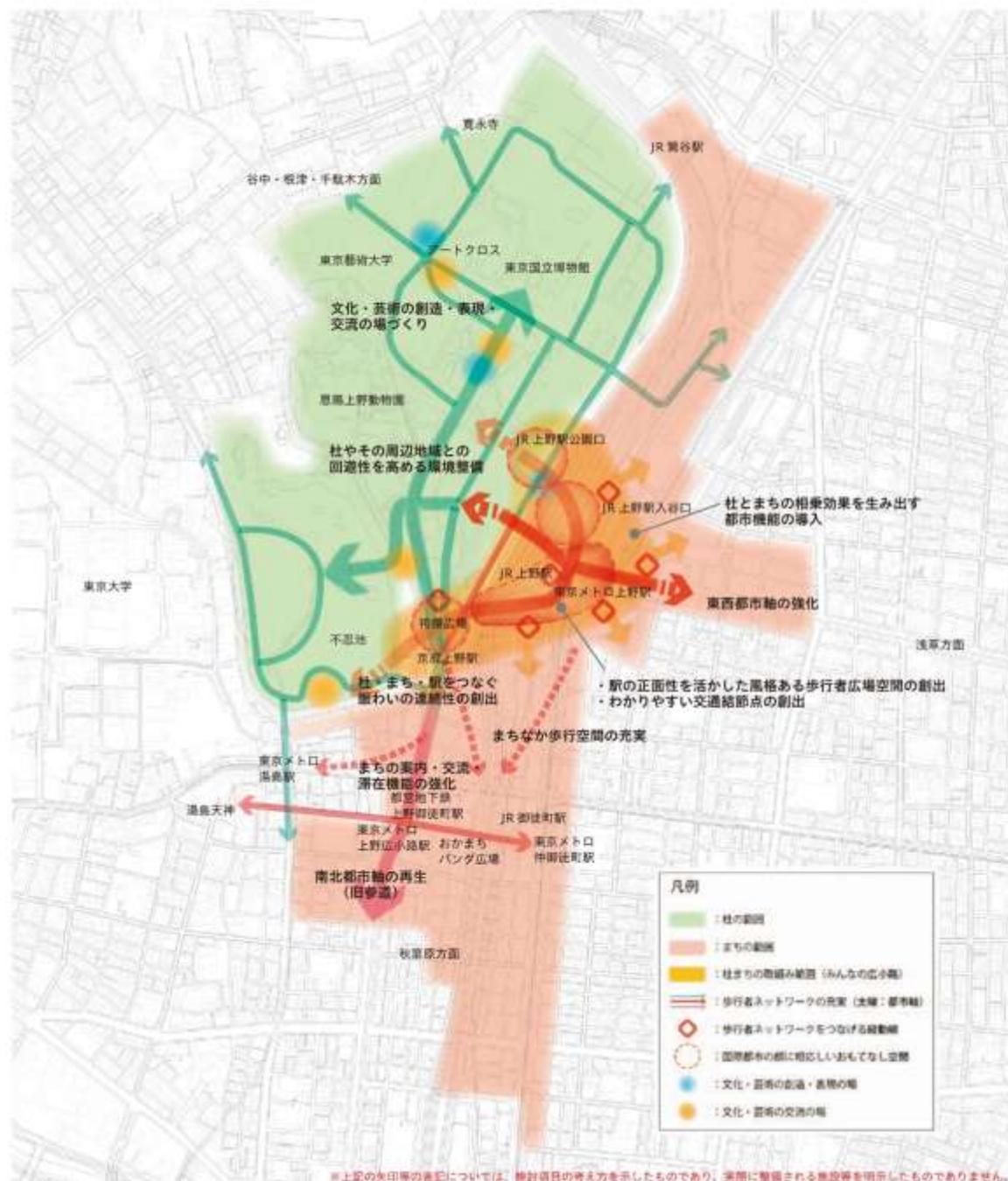
国際競争力を強化する
文化・芸術の創造発信拠点の形成



歩行者優先の
わかりやすい都市空間の創出



国際都市の顔に相応しい
駅前空間の創出



世界中の人々を迎え入れる
おもてなし機能の強化



上野を訪れ、上野で住み、
働くための都市機能の強化



平時の営みの中で実現する
エリア防災力の強化



杜まち全体の魅力が向上する
エリアマネジメントの推進



※上記の矢印等の表記については、検討項目の考え方を示したものであり、実際に整備される施設等を明示したものではありません。

■ 上野の特徴・強みの整理

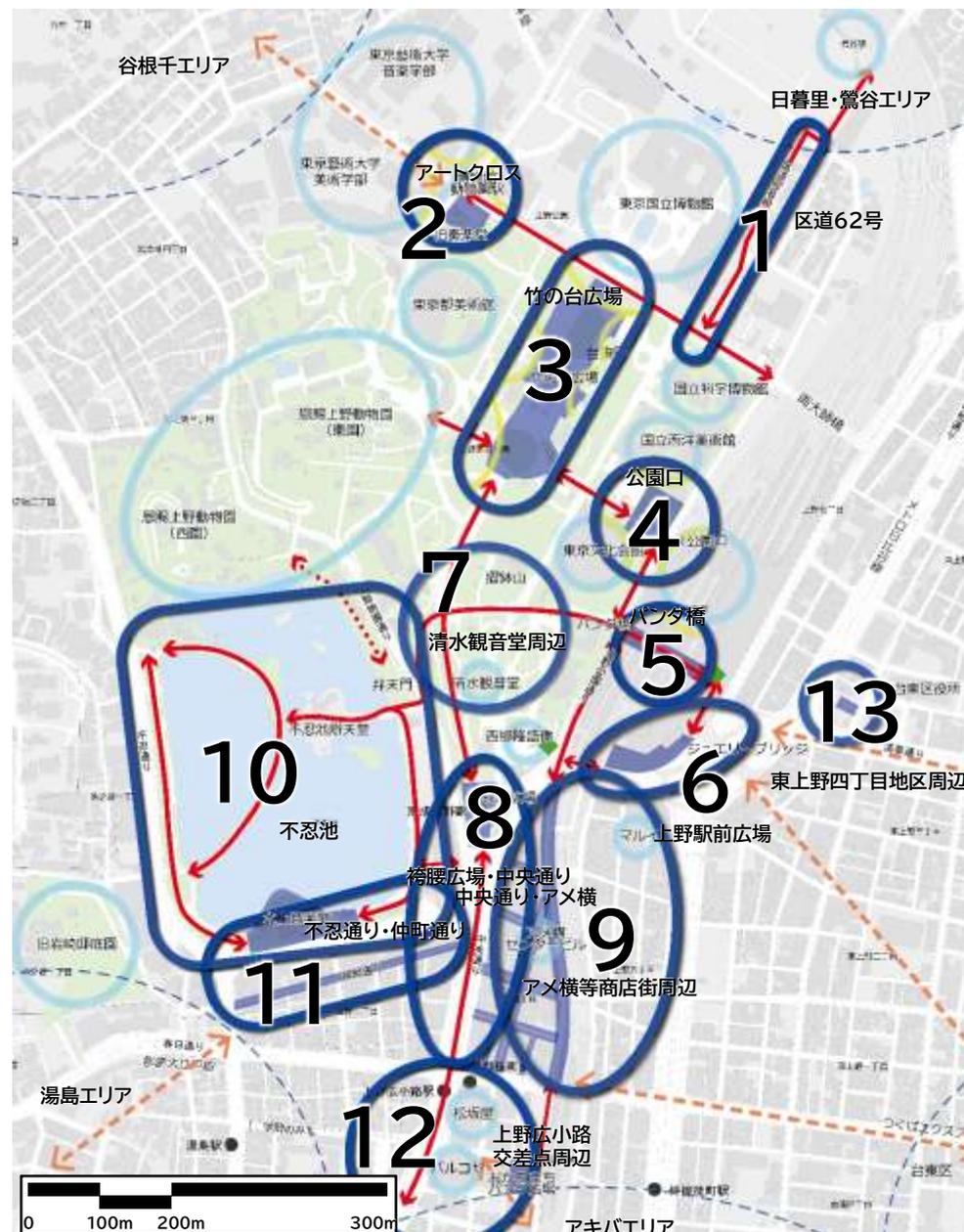
戦略立案の軸となる上野の特徴・強み



ターゲット10+
「一元的マネジメント」に向けた検討項目(案)

1. ターゲット10+それぞれで個性を明確にした空間のビジョンをもつ
2. 共通の基準やガイドラインをもつことで、12個の全てで居心地のよい水準をクリア
3. 全体として人流等のモニタリングや分析を行うことでマネジメントの改善にフィードバック
4. 場所の特徴にあわせたマネジメント体制を検討、確立し、全体で情報の共有と連携を図る
5. 空間の利活用に関する情報を一元化し、使い手がどこでも利用しやすくする

注力すべきパブリックスペース等「ターゲット10+」



■ ウォーカブルまちづくりの推進(短期施策)

歩行者優先の
わかりやすい都市空間の創出



タイムズスクエア@ニューヨーク

(上野地区まちづくりビジョンより)

主な短期施策

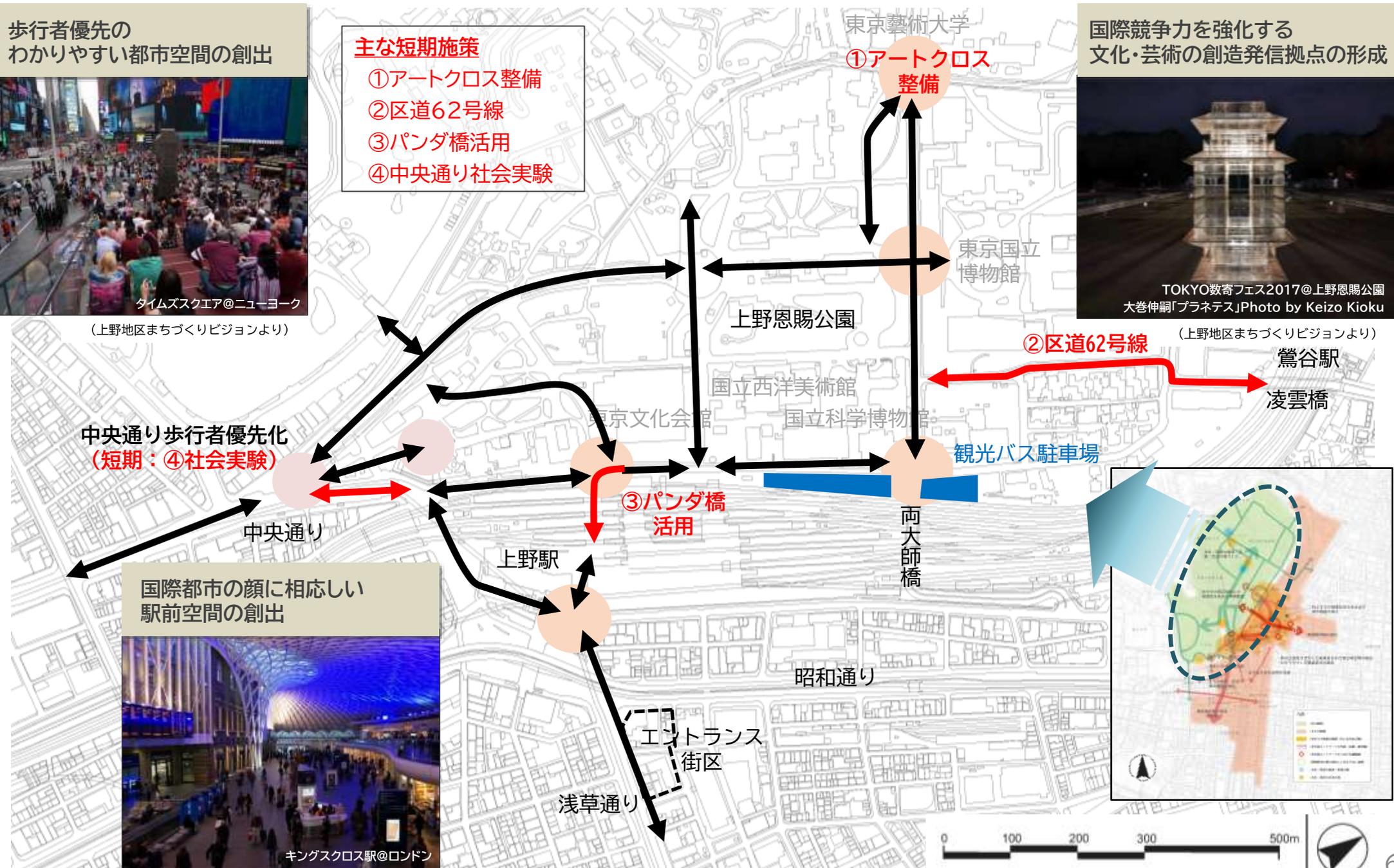
- ①アートクロス整備
- ②区道62号線
- ③パンダ橋活用
- ④中央通り社会実験

国際競争力を強化する
文化・芸術の創造発信拠点の形成



TOKYO数寄フェス2017@上野恩賜公園
大巻伸嗣「プラネテス」Photo by Keizo Kioku

(上野地区まちづくりビジョンより)



中央通り歩行者優先化
(短期：④社会実験)

中央通り

国際都市の顔に相応しい
駅前空間の創出



キングスクロス駅@ロンドン

③パンダ橋
活用

上野駅

エントランス
街区

浅草通り



■ 第5回ビジョン推進会議

① 上野版エリアプラットフォーム検討

上野のまちづくり活動を支援するためのエリアプラットフォームの立ち上げについて提案。上野のまちに望ましいチャレンジを、公民学で応援するための検討状況を共有した。

② ワーキンググループUENO Bridgeの活動状況

UENO Bridgeで取り組んでいるプロジェクトとして、上野の新しいアートのあり方や杜まち回遊を目的にパンダをモチーフとしたパブリックアートを設置する「上野パンダパレード」について共有した。

③ 杜まちデジタルスタンプラリー“furari”

杜とまちを回遊しながら上野エリア全体の魅力を体験してもらう取組として、デジタルスタンプラリーの広がりを紹介。利用者データや動向データなど上野ならではのビックデータ収集の可能性が共有された。

④ 上野ウォークブルまちづくりに係る取組

中央通り社会実験、パンダ橋活用実験、上野公園北部エリア、アートクロス整備、シタマチ、ハロウィン2024、Peace of Light、不忍池ブックカフェ2024、まちなかアートペイントの取組が、各関係者から紹介された

⑤ 上野地区景観形成ガイドラインの策定

地域特性に応じた景観を形成する新たな指針として「上野地区景観形成ガイドライン」の検討内容について、区より説明した。

⑥ 上野地区における再開発等

上野および周辺地区における再開発等として、「湯島三丁目北東地区」および「東上野四・五丁目地区まちづくり」の状況を共有した。

これからのまちづくりに求められる組織の役割

※第5回推進会議資料より抜粋

まち部会としての課題

検討の深度化・事業推進力

継続力・実効性の確保

新たな企画の立案

×

上野の現状

新たな事業の萌芽

新たな担い手の出現

活動が萌芽する上野のまちづくり活動を**応援・支援**する**実効力**のある組織

官民連携による

わっしょい！社まち応援団

➤ 官民(公民学※)連携でまちづくりを推進する上野ならではのエリアプラットフォーム

※学との連携は今後の検討対象とする

※第5回推進会議資料より抜粋

目標: 上野の将来像(目指すべき状態)**の実現**
(R7度以降にWSをとおして設定)



手段: 杜まち連携や
ウォークブルまちづくりに資する取組

活動が萌芽する上野の担い手 (まち部会メンバー+杜まちで活動するまちづくりの担い手)

杜・まちにおける困りごとの一例

- ・継続的なまちづくり活動における原資
- ・まちづくりをする上でのノウハウがない

杜まち応援団を通じて、

まちづくりにおける困りごとの支援

官民連携による

わっしょい！杜まち応援団



※第5回推進会議資料より抜粋

官民連携による

杜まち応援団の活動イメージ

3～5年程度

Phase1

Phase2

上野エリアのまちづくりの担い手を応援！

- 上野の**既存の担い手に対する支援**からスタート
- まだ見えていない新たな担い手の発掘・支援も実施
- Phase1では杜まち応援団としての実績を重ねる
- その中で**上野らしいまちづくり活動の方向性を整理・明示**

上野の外の担い手も応援！

- **上野外の担い手に対しても応援**を開始
- 方向感を提示・共有した上で、**上野のまちに望ましいチャレンジ**を応援

※第5回推進会議資料より抜粋

2024年度 まち部会WG

- 2022年度に設立した「まちづくり推進部会ワーキンググループ“UENO BRIDGE(以下、UB)”は、今年度よりサロン形式でそれぞれの取り組みの共有や、上野で展開したいアクションアイデアに関して議論を行っている。それにより、具体的な取組アイデアや具体のアクションがみられるようになった。

■まち部会WGの開催状況

第9回

日時: 2024年6月5日(水)
場所: 日建設計本社ビル
PYNT



第10回

日時: 2024年8月19日(月)
場所: BAZUCHIKA



第11回

日時: 2024年10月7日(月)
場所: 東京藝術大学
赤レンガ一号館



第12回

日時: 2024年12月16日(月)
場所: BAZUCHIKA

■参加プレイヤー 一覧 (敬称略)

いとう たつや 伊藤 達矢	東京藝術大学社会連携センター 教授 とびらプロジェクト
おかべ たかひろ 岡部 隆宏	上野文化の杜新構想実行委員会 事務局長
さくらい まさと 桜井 正人	上野中央通り商店会会長 御徒町駅広場周辺地区まちづくり協議会 理事 藝を育むまち同好会
たなか ゆう 田中 勇	株式会社セレナ ジュエリータウンおかちまち 藝を育むまち同好会
ま やくげん 馬 躍原	株式会社多慶屋 マーケティング部 藝を育むまち同好会
まえかわ ひろみ 前川 弘美	長岡商事株式会社 代表取締役社長 (下町バルながおか屋、シノバズブルフリーほか) 藝を育むまち同好会、しのばずいけまち研究会
まめ さわこ 馬目 佐和子	ジュエリデザイナー Acute Accent 東京藝大卒業・修了、台東デザイナーズビレッジ
もりしげ しんご 森重 伸悟	上野ユーワンビル 五條天神社 上野 元黒門町々会青年部部长 しのばずいけまち研究会
やまざき さとし 山崎 聡	アメ横コミュニティ株式会社 代表取締役

ワーキンググループUENO Bridgeの活動状況について

※第5回推進会議資料より抜粋

■プロジェクト例:「上野パンダパレード」

- 上野の新しいアートのあり方や杜まち回遊を目的として、パンダをモチーフとしたパブリックアートを設置する
- 全国から公募したデザインの中から優秀な作品を上野エリアの至る所に設置する
- 共感者・賛同者を集めるために、アイデアを伝える企画書をUENO Bridge で作成する

UBの場で企画書の深度化を実施中

Step①

企画・構想の言語化⇒認識の整理、企画案の深度化

Step②

多くの人に対して企画を説明⇒共感の輪を広げる

Step③

スモールスタート⇒手の届く範囲での活動実績作り

Step④

実行力のある推進主体に企画を持ち込む
⇒本格的に企画を進めるために協力を仰ぐ

企画の検討イメージ



街にパンダのアートが設置されたイメージ

杜まちデジタルスタンプラリー“furari”について

■ueno杜まちふらりデジタルスタンプラリー(2024/5～2025/3)

※第5回推進会議資料より抜粋

- まちの事業者を中心に構成された「ueno杜まちふらり実行委員会」による取組。上野で既に実施されているイベント等をスタンプラリーに落とし込み、利用者はスタンプを集めながら杜とまちを回遊しながら上野エリア全体の魅力を体験してもらう。
- 各デジタルスタンプラリーにクーポン等の特典を設けることで、まちの飲食店舗での利用[まちへの回遊]やスタンプラリーのリピート利用[ファンづくり]の促進を図っている。また、アプリのプッシュ通知により来街頻度の向上も狙っている。
- アプリの利用登録より、利用者データ[年齢、性別ほか]や利用者動向データ及びアンケート機能[回遊動向、利用理由ほか]を活用し、上野オリジナルのビッグデータの収集に繋げる。



-上野オリジナルのビッグデータ- (年齢、性別、クーポン利用数(来店人数)など)



2024年5月/979名

上野ミュージアムウィーク
2024～国際博物館の日～



2024年7月/1509名

うえの夏まつりクイズ
スタンプラリー



2024年8月/429名

ウエノデ・パンダビアフェスタ
2024「シャランに乾杯!
スタンプラリー」



2024年9月/357名

『奥上野』俳句ハイキング
2024秋



2024年9月/436名

ウエノデ・パンダ中秋節
2024スタンプラリー



2024年10月/286名

『Peace of Light(ピース
オブライト)スタンプラリー



2024年10月/888名

シタマチ・ハロウィン
2024スタンプラリー



2024年10月/376名

秋の上野をめぐる8日間
上野広小路ヒロバ化社会実験



2024年12月/572名

UENOクリスマスマーケット
スタンプラリー



2025年1月/447名

必勝合格祈願デジタルスタンプ
ラリー



2025年2月-3月

MEMACHI
湯島名店巡り

※開催月/参加者

④ 上野ウォーカーブルまちづくりに係る取組-短期施策に掲げた取組

※第5回推進会議資料より抜粋



中央通り社会実験



パンダ橋活用実験



上野公園北部エリア



アートクロス整備

※第5回推進会議資料より抜粋

■短期施策以外の取り組み



シタマチ. ハロウィン2024



Peace of Light



不忍池ブックカフェ2024



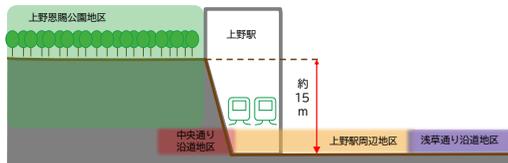
まちなか アートペイント

1 ガイドラインの目的と前提(地区区分)

- 上野地区景観形成ガイドラインは、当地区に集積する多様で特色ある資源を活かし、地域特性に応じた景観を形成するため、台東区景観計画や上野地区まちづくりビジョンなどの当地区に関連する上位関連計画と整合を図り、新たな指針を示すものです。
- 本ガイドラインに基づき、地区内の建築計画やデザイン検討などのまちづくりを進めることで、区と地域住民、事業者などがその考え方を共有し、上野にふさわしい景観を形成することを目的とします。

【4つの地区区分】

- 上野地区のうち、右記の4地区における配慮事項を定めます。
- その他、隣接する商業集積エリアについては、地域主体のルールづくりなどの機運を踏まえたルール作成や仕組みづくりなどの支援を行い、地域特性に応じた景観形成を図ります。



各地区の断面構成

上野恩賜公園地区と上野駅周辺・浅草通り沿道・中央通り沿道地区には地盤面の高低差が約15m存在します。



本ガイドラインにおける地区区分

2 眺望点からの景観の保全

- 上野地区には、国立西洋美術館前や西郷像前・上野駅前広場の主要な眺望点があり、その地点ごとに眺望の対象や配慮事項が異なります。



上野地区の眺望点

※第5回推進会議資料より抜粋

3 地区別の景観配慮の考え方

【上野恩賜公園地区】

- 上野恩賜公園周辺の歴史・文化・緑の資源を保全・活用し、潤いと風格のある景観を形成
- 上野恩賜公園と周辺地域をつなぐエリアは、連続性や象徴性を高める景観を形成
- シンボルとなる景観資源を活かし、昼夜を問わず上野恩賜公園の景色を眺め楽しみながら回遊できる魅力ある景観を形成



【上野駅周辺地区】

- 国立西洋美術館前に設定した眺望点からの見え方に配慮
- 眺望点から東側方面を望んだ際に見える上野駅周辺地区内の建物全てを、高さに配慮すべき対象とする

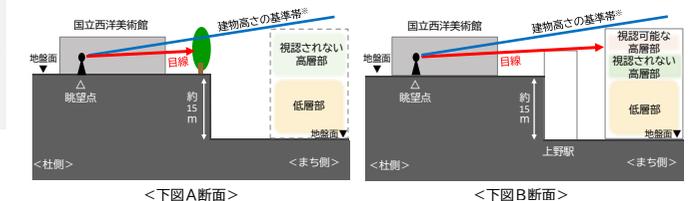
【建物高さのルール】

景観基準線を超えないよう建築物の高さや工作物などの配置に配慮する。また、景観基準帯と調和を図るよう配慮する。



- 国立西洋美術館前の眺望点から見て、視認可能な高層部、視認されない高層部、低層部の三つに分類し、其々に景観配慮事項を定めます。

<各分類の断面イメージ>



【浅草通り沿道地区】

- 上野と浅草や周辺地域を結ぶ骨格となる景観軸として、賑わいと風格のある沿道景観を形成するとともに、通りとして一体感のある良好な景観を形成
- 上野駅近傍では、上野と浅草を結ぶエントランスにふさわしい広場空間を創出
- 沿道建築物の壁面後退やオープンスペースの創出などにより、開放的で快適な沿道景観を形成



神仏具店が並ぶ浅草通り沿道

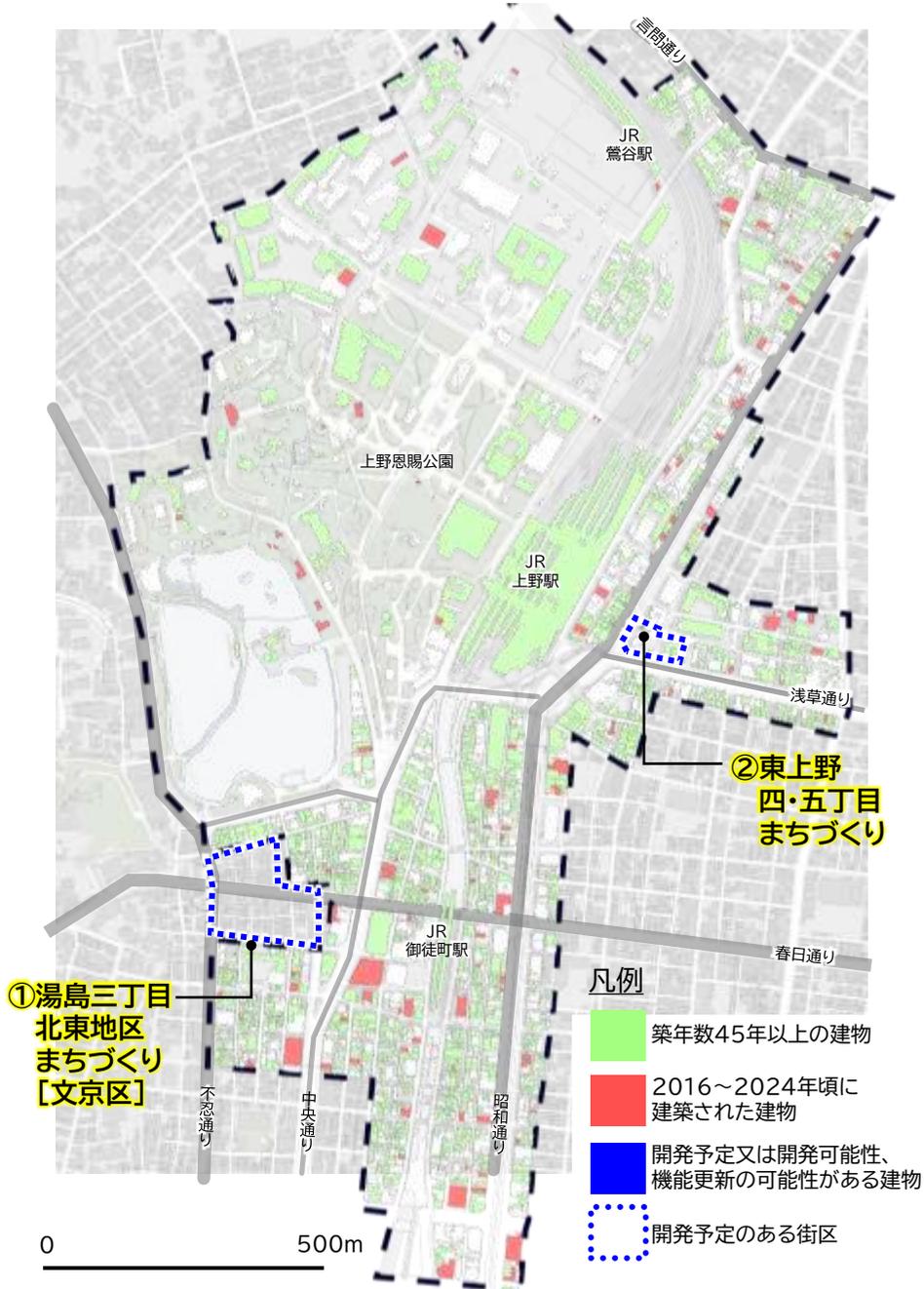
【中央通り沿道地区】

- 上野恩賜公園とまちをつなぐ都市軸として、賑わいと風格のある沿道景観を形成
- アイ・ストップとなる上野の森を意識した一体感のある景観を形成
- エリア特性を踏まえたルールづくりによる公民連携が図られた景観を形成



公民連携によるパブリックスペースの活用

※第5回推進会議資料より抜粋



出典:令和3年度台東区基礎調査[築年数]を加工のうえ作成

1 湯島三丁目北東地区【文京区】



出典:第2回湯島三丁目北東地区まちづくり基本方針検討会資料

2 東上野四・五丁目地区まちづくり



東上野四・五丁目地区地区計画パンフレットを加工して掲載

(社会実験について)

- 道路管理者・交通管理者と緊密にやり取りをされている印象。今後、道路空間を再編していくのであれば、台東区が主導しながら議論を進めてほしい。上野においても地元住民や道路利用者との協議が難航する場面もあるかと思うが、根気強く対話を重ねて実現してほしい。

(杜まち連携カレンダーについて)

- 区を窓口として、ブラッシュアップしていくことが理想。他地区でも同様の取り組みを検討していることもあり、本取組を通して上野が東京のまちづくりの先進事例になると良い。

(上野版エリアプラットフォームについて)

- 今年度は多様で活発なまちづくりの動きがあった。この動きを継続させるためにも、エリアプラットフォームのような仕組みが必要になってくるだろう。
- エリアプラットフォームを誕生させることが直近の課題。エリプラの機能は、活動のリーダーシップを発揮するのではなく、新たな価値創出や相乗効果を生み出すことにあると考える。

(今後の進め方について)

- 節目となる年次をターゲットとして、杜側・まち側それぞれがどういったことができるのかを考えていきたい。寛永寺400周年の節目となる2025年は、まち側でも関連した取組ができると良い。
- 東京メトロ銀座線開通100周年が2027年に控えているため、それに向けた3年間は上野にとって非常に重要な期間と感じている。2027年を次のターゲットに据えて、杜まち連携の形ができれば、次の節目となる2033年(上野駅150周年 京成上野駅100周年)にも繋がっていくだろう。
- 情報ネットワーク構築と基盤整備が合わさって実現できれば、上野のイメージは大きく変わっていくと期待している。